

畏れを実践する

シリーズ～神の知恵～

2019/2/24

先週のおさらい「畏れは恐れを消す」

- 2・8～24「主への畏れ」(神を知る～3・23)
- 神を中心に
 - 主を人生の(心の)中心に据えて生きる
- 深く変える
 - 主への畏れによってこの世の恐れ締め出す
- 神のみもとで安らぐ
 - 主を完全な砦とするとき、問題のさ中で安らげる
- 主を信賴する
 - 好きなことも嫌いなことも、理解できることもそうでないことも受け入れる

先週のおさらい「畏れは恐れを消す」

- 2・8～24「主への畏れ」(神を知る～23)

- 神を主と畏れ

—主

- 深く

—主

- 神の

—主

- 主を

—好

いことも嫌いなことも、理解できることもそうでないことも受け入れる

この世の恐れから逃れたり、消し去ろうとするのではなく、常に主を畏れることに力を注ぐこと

らげる

神の臨在を体験する 2・15

いかに幸いなことか、常に恐れ(畏れ)を抱いている人。
心の頑な者は苦難に陥る。(箴言28:14)

- 主を畏れるとは主の前で震えること
 - 「神を心の中で意識しながら一日を過ごすこと」TK
 - 「神がそこにおられて見守っておられると意識している」
- 困ったときだけ「主が共におられる」ことを意識していないか？
 - 「わたしは…**いつも**あなたがたと共にいる」キリスト

人生のあらゆる領域で 2・18

あなたの業を主にゆだねれば／計らうことは固く立つ。16:3

- 人生のあらゆる領域で主に信頼し、従う
 - 「私たちの仕事、余暇、知的生活、内的思想生活と想像力、友情、私たちの身体の健康や治療、結婚や恋愛関係、お金や財産、教会や他のクリスチャンとの関係、感情的生活、そしてその人らしさ(アイデンティティ)も含まれます」TK
- 自分の思い通りに行く、ということではない！
 - 「人間の計画が覆されても、**より深い計画**が私たちの人生に実行されていると受け入れる」ロングマン

「いけにえ」の誤用 2・17,19

主は逆らう者のいけにえをいと
正しい人の祈りを喜び迎えられる。(15:8)

- 忌まわしいいけにえ

- 不当な方法で得たお金を、寄進や寄付によって埋め合わせしようとする事(浄財)は愚かである

- 賄賂としてのいけにえ

- 「私たちの祈りと贈り物は取引材料ではないことが分かってはじめて、それらは神の目に価値あるものとなります」TK

「これらのもの」2・21

貪欲な者はいさかいを引き起こす。

主に依り頼む人は潤される。(28:25)

- 人間どうしの争いの原因の多くはお金である
 - 親しい人とはお金の関わりを持たない
- 自分は何を求めているのか常に探る
 - 「何よりもまず、神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、**これらのものはみな加えて与えられる。**」(マタイ6:33)
 - 「神をあなたにとって最高のものにすると、あなたはこの世で多くの良いものに導かれます」TK

聖なる方 2・24

主を畏れることは知恵の初め

聖なる方を知ることとは分別の初め。(9:10)

- 神をどのような方と見ているか

- 「すべての人の知恵—物事の意味を解釈する方法—の「初め」は、神をどのような視点で見るか」TK

- 主は完全に**聖い**お方である

- 「神の聖さに照らせば、私たちの罪はこれ以上ないほど明白になります。唯一イエスの血だけが私たちの罪を贖い、私たちが聖なる神の前に安心していられるようにしてくれる」TK

未解決事項はなし 2・23

主は御旨にそってすべての事をされる。

逆らう者をも災いの日のために造られる。(16:4)

- 暴力に暴力で対抗しない

- 「非暴力を実践するには神の報復を信じる必要がある」(ヴォルフ)

- 他人の罪を裁かない

- 私たちの罪の代価はキリストが十字架で払ってくださった(私たちの罪を主は裁かれなかった)

- 「私たちは、他人の罪について彼らを裁く知識や権利、権力を持っていません」TK

- 最終的な主の裁きに委ねる

祈り

- 「私はいつも、私の前に主を置いた。主が私の右におられるので、私はゆるぐことがない。」
(詩編16:8／新改訳)
- 主よ、私の前にあなたを常に感じ、あなたの存在を常に意識すること以外に実践的な霊的訓練はありません。すべての会話や行動、出来事であなただを覚えさせてください。それが真の知恵への道です。